

土佐清水ジオパーク 活動の歩み

時期	事柄
2007 年 (平成 19)	
12 月	日本ジオパーク連絡協議会設立 (13 地域：地域団体)
2008 年 (平成 20)	
5 月	日本ジオパーク委員会 (JGC) 発足 (審査団体)
2009 年 (平成 21)	
5 月	日本ジオパークネットワーク (JGN) 設立 (日本ジオパーク連絡協議会は発展的解散)
2010 年 (平成 22)	
8 月	特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク設立。第 1 回 JGN 全国大会開催
2014 年 (平成 26)	
4 月	土佐清水市産業振興課内にジオパーク推進係が設置される
5 月 1 日	土佐清水ジオパーク構想として日本ジオパークネットワーク準会員となる (5 月 1 日)
2015 年 (平成 27)	
2 月	土佐清水ジオパーク市推進協議会設立 (事務局は土佐清水市産業振興課ジオパーク推進係) (2 月 27 日) 会長：泥谷光信 (市長)
4 月	市の行政機構変更により「産業振興課」が、「観光商工課」に改組 →土佐清水市観光商工課内にジオパーク推進室が設置される (昇格) (4 月 1 日～) 会長：泥谷光信 (市長) 事務局長：窪内信也 (室長)
10 月 1 日	異動により事務局長変更 事務局長：酒井満 (室長)
10 月 5 日	役員会にて「土佐清水ジオパーク推進協議会」と名称変更
11 月	世界ジオパークがユネスコの正式事業として認定

2016 年

(平成 28)

- 4 月 土佐清水ジオパーク構想推進計画策定（2016～2020 5 か年）
土佐清水ジオパーク構想ジオサイト保全整備計画策定
土佐清水ジオガイド認定要綱 施行
- 7 月 ジオガイド養成講座開始（第 1 期）

2017 年

(平成 29)

- 4 月 日本ジオパーク加盟申請
- 6 月 土佐清水ジオパーク構想の 2017 年の認定見送りが決定
6 月 9 日付尾池 JGC 委員長から土佐清水ジオパーク推進協議会会長泥谷（ひじや）会長あて審査結果報告による認定見送り理由
 - 1 説明やジオストーリーにおける地質学的事象への偏り
 - 2 地球科学的価値を正しく評価した説明の不足
 - 3 地域の将来の目的設定と手段との矛盾（ジオパークは観光客増に直結しない）
 - 4 他のジオパークから学ぶ姿勢（運営組織や事業計画に反映されていない）
 - 5 担い手を増やすための取組と運営体制 疲弊を防ぐビジョンと地域住民の参画（現在 3 名の事務局体制の強化）

7 月 26 日 土佐清水認定ジオガイドの会、発足準備

2018 年

(平成 30)

- 3 月 土佐清水ジオパーク構想基本計画策定（2018～2022 5 か年）
 - 4 月 日本ジオパークへ加盟申請
 - 7 月 現地調査（中川和之、長谷川修一、柴田伊廣）
 - 9 月 土佐清水ジオパーク構想の 2018 年の認定見送りが決定
10 月 10 日付 JGC 中田委員長から土佐清水ジオパーク推進協議会泥谷会長あて報告文書による優れている点・課題
- 優れている点
- 仕組みの見直し＋プロジェクトチーム、人づくりを中心にコンセプト統一、教育活動、2019 年に国立公園施設・環境省の竜串ビジターセンター開館予定
2020 年県の施設足摺海洋館の整備を通じて観光振興の可能性
- 課題
- 1 分野を超えて価値の整理、共有（地質学、地理学、生態学、歴史、文化、景観、資源管理）
 - 2 観光クラスターへの関与、竜串ビジターセンターへの強い関与

- 3 海域へのエリア拡大
- 4 災害遺産の保全のための法的根拠
- 5 運営体制 地域住民や各種団体との連携・協働

2019 年（平成 31）

- 3 月 2019 年の日本ジオパークへの申請見送りを総会で決定
- 10 月 1 日 ガイド団体 たびさび 設立

2020 年

（令和 2）

- 1 月 「国立公園＊ジオパーク推進課」が設置され、事務局が竜串ビジターセンターに移転
会長：泥谷光信（市長） 事務局長：酒井満（課長）
- 3 月 足摺宇和国立公園竜串ビジターセンターがオープン
- 4 月 2020 年の日本ジオパークへの申請見送りを総会で決定

2021 年

（令和 3）

- 2 月 25 日 ガイド団体 たびさび との持続可能な観光の推進に関する連携協定締結①
- 3 月 1 日 ガイド団体 土佐清水ジオの会 との持続可能な観光の推進に関する連携協定書締結①
- 4 月 3 度目の日本ジオパーク認定申請を行う
- 8 月 現地調査（宮原育子、田中裕一郎、松原典孝）
- 9 月 25 日 土佐清水ジオパークが日本ジオパークに認定される

10 月 22 日付 JGC 中田委員長から土佐清水ジオパーク推進協議会泥谷会長あて
結果通知書による優れている点・改善点

優れている点

- ・環境省との連携、竜串ビジターセンターでのスタッフ常駐
- ・土佐清水ジオの会を中心とするツアー造成
- ・学校教育との連携
- ・地域防災

改善点

- 1 ラパキビ花崗岩、前弧海盆堆積物の説明
- 2 ラパキビ花崗岩観察のための白石洞門サイトの整備
- 3 竜串ビジターセンター入り口の総合解説版を設置し視認性向上
- 4 ジオパーク可視性向上・解説看板（英語表記含む）整備
- 5 防災対応
- 6 宝石サンゴ保護保全にジオパーク活動を生かす

7 市域外の玄関口（高知空港、くろしお鉄道中村駅、JR 高知駅）における情報掲示や看板整備

2022 年

（令和 4）

- 3 月 土佐清水ジオパーク周遊促進計画策定
- 4 月 15 日 第 1 期土佐清水ジオパーク基本計画策定（計画期間 2022 年度-2029 年度の 8 か年）
第 1 期土佐清水基本計画前期アクションプラン 2022-2025 策定
土佐清水ジオパークにおける資源の保全計画制定
- 5 月 20 日 ガイド団体 たつくしがーるず設立
- 6 月 1 日 ガイド団体 たつくしがーるずとの持続可能な観光の推進に関する連携協定締結①
- 9 月 法人化準備開始
※事務局長より、会長に提案し、ジオパーク活動の推進にもつながることから、当該年度にて実施方針
- 10 月 26 日 （任意）推進協議会役員会にて法人化を臨時総会で諮る旨、承認
- 11 月 2 日 （任意）推進協議会臨時総会にて法人化の承認
- 12 月 20 日 法人設立総会（理事を発起人とし）

2023 年

（令和 5）

- 1 月 4 日 一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会 設立（登記完了）【6/28 までは、（法人）、（任意団体）が併存】
- 4 月 1 日 一般社団法人土佐清水ジオパーク推進協議会 運営開始
理事長（代表理事）：泥谷光信（市長） 事務局長 土井恵治
- 4 月 1 日 土佐清水ジオガイド認定要綱 改正
- 4 月 1 日 土佐清水ジオパーク活動支援事業助成金交付要綱施行（改訂 2024 年 3 月 6 日施行）
- 4 月 1 日 土佐清水ジオパークロゴマーク使用規程施行
- 4 月 1 日 ガイド団体 土佐清水ジオの会、たびさび、たつくしがーるず との持続可能な観光の推進に関する連携協定締結②（協議会法人化のため再締結）
- 4 月 1 日 「国立公園＊ジオパーク推進課」が廃止→観光商工課にジオパーク推進係設置
- 6 月 21 日 （任意）推進協議会役員会にて任意組織解散を総会で諮る旨、承認
- 6 月 28 日 （任意）推進協議会総会にて任意組織解散を承認
- 9 月 6 日 理事長（代表理事）西宮正夫（泥谷理事長が病気加療のため理事会にて就任）
- 11 月 22 日 理事長（代表理事）程岡庸（市長）（総会、理事会にて就任）（10 月 22 日市長選挙を受け）

2024 年

(令和 6)

- 3 月 6 日 パートナースhipガイドライン策定
- 4 月 1 日 ガイド団体土佐清水ジオの会と持続可能な観光の推進に関する連携協定書締結
③ (保険契約変更のため)
ガイド団体たつくしがーるずと持続可能な観光の推進に関する連携協定書締結
③ (保険契約変更のため)
- 5 月 7 日 WebGIS 運用開始
- 11 月 30 日 土佐清水ジオパーク推進協議会顧問・アドバイザー設置要綱施行
土佐清水ジオパーク応援店制度実施要領施行

2025 年

(令和 7)

- 1 月 15 日 公益財団法人高知県牧野記念財団と相互協力協定書締結
- 3 月 4 日 竜串ビジターセンターライブカメラ運用開始 (YouTube にて公開)
- 3 月 18 日 高知地方気象台と連携に関する覚書締結
- 3 月 25 日 高知県立清水高等学校と連携に関する協定書締結

- 11 月 13 日 日本ジオパーク再認定現地調査 (柴尾智子、日比野剛)
- ~17 日 (内
14 日~16
日)

2026 年

(令和 8)

- 1 月 30 日 日本ジオパークに再認定される